

特集

その声に応えていくケア デイサービス安布里・デイホーム安布里



Pickup

連載① 認知症～暮らし・寄り添う
「認知症の早期発見・早期治療」

連載④ 簡単！ 家リハ
「座ってできる膝痛予防体操」

その声に応えていくケア

デイサービス安布里・デイホーム安布里

赤門ニュース

連載① 認知症～暮らし・寄り添う

第2回 「認知症の早期発見・早期治療」

医療法人社団 慶勝会 理事長（赤門整形外科内科 整形外科・認知症外来 医師）田中 耕一

連載② 相談ひろばQ&A

「認知症専門の施設ってどんなところ？」

株式会社ケアサービス・まきの実 総合相談窓口 管理者 富澤 千夏子

連載③ 管理栄養士が教える 食べて元気になるメニュー

第2回 「ちょっととしたひと手間で誤嚥を防ごう」

赤門整形外科内科 管理栄養士 川端 俊哉

連載④ 簡単！家リハ～いつまでも自分らしい健やかな身体をキープしよう！！

vol.4 「座つてできる膝痛予防体操」

介護老人保健施設 なのはな館 みさき 理学療法士 長谷川 理恵 作業療法士 野崎 孝伸

イベントNEWS

赤門整形外科内科 ご利用のご案内（平成27年12月時点）

赤門ヘルスケアグループ 事業所一覧

この一枚

赤門
ヘルスケアグループ

「赤門だより」は、赤門整形外科を中心とする赤門ヘルスケアグループ（医療法人社団 慶勝会および株式会社ケアサービス・まきの実）による共同発行の季刊広報誌です。

当グループは、明治21年（1888年）「赤門鈴木医院」の開院以来、館山・南房総を中心に皆様方のご支援を受けて、医療・介護に取り組んで参りました。また地域でも早くから認知症対策に力を注いで参りました。これからも「その人らしい暮らしを支える」の理念の下、地域の皆様に貢献するべく絶えず邁進してまいります。



【赤門の由来】

江戸時代に南部藩（現在の盛岡）の御常宿として通称「南部屋」の名称で呼ばれていた鈴木家は交易の司処として南部藩主より、門柱に朱塗りを、堀の上には高張り（庇）を許されました。

この朱塗りの門すなわち「赤門」が名称の由来として今日まで継承されています。





特集 その声に応えていくケア

デイサービス安布里・デイホーム安布里

平成26年11月、館山市安布里地区に移転したデイサービス安布里とデイホーム安布里。利用者様の声や思いを受け止め、機能訓練そして認知症ケアに力を注ぐそれぞれの事業所の取り組みをご紹介します。

○施設概要

名 称：通所介護施設 デイサービス安布里（旧デイサービスセンター神明町）

提供サービス：通所介護

事業所番号：1271000281

開設年月日：平成14年12月1日（平成26年11月3日移転）

定 員：29名

名 称：認知症対応型通所介護施設 デイホーム安布里（旧デイホーム神明町）

提供サービス：認知症対応型通所介護

事業所番号：1291000063

開設年月日：平成18年11月1日（平成26年11月3日移転）

定 員：12名

住 所：〒294-0043 千葉県館山市安布里237-2

デイサービス安布里 TEL：0470-25-5766 FAX：0470-24-3090

デイホーム安布里 TEL：0470-29-5367 FAX：0470-24-3090

URL : <http://www.makinomi.co.jp>



1 デイサービス安布里～自ら選び、楽しみながら励める場所

いつまでもご自宅で元気に過ごしていただきために・・・
利用者様の思いの実現に力を注ぐデイサービス安布里の取り組みをご紹介します。

「やりたい」を支援する

昨年移転した通所介護施設デイサービス安布里（以下、デイサービス）は、「やりたい」を支援する』をモットーに、「自分の足で歩きたい」「自分で入浴したい」といった

利用者様それぞれの声や思いに対し、多彩なプログラムや活動をご用意してお応えしています。中でも特に力を入れているのが機能訓練です。



類似の内容・目標の利用者様が少人数のグループで同じメニューを実施する場合もあるが、その評価やその後の進め方は利用者様個別で見直していく。



南房総地域で初の導入となったデジタル式のリハビリ機器。金魚すくいにシャボン玉割りなど、ゲーム感覚で楽しみながらリハビリを行える。身体の姿勢や動きが画像や数値として記録され、進捗を様々なグラフやデータで確認できるので、成果や目標への進度を具体的に把握しながら取り組むことができる。

あくまで個別に、希望に沿つて

機能訓練は、利用者様の日常生活に必要な筋力や運動能力の維持・向上を目的に、様々な方法で行います。

機能訓練指導員が利用者様の要望や身体状況、自宅での生活を踏まえ、目標や実施方法などを明記した機能訓練計画書を作成します。それに則り機能訓練指導員・看護・介護スタッフなどが協力して実施していきます。

計画の内容の類似した方々が数名のグループで一緒に訓練する事もあ

りますが、方法や進め方、評価や相談などはあくまで個別で行います。

この個別対応こそ最も大切にしている点であり、また効果的な機能訓練を実現する最大の長所なのです。

また移転を機に、ゲーム感覚のリハビリメニューを揃えた最新のデジタル機器を南房総地域で初めて導入しました。この機器は過去の訓練結果を数値で記録できるため、利用者様も毎回の成果を励みに楽しみながら取り組んでいます。

機能訓練の成果は3ヶ月毎に評価され、計画を見直しながら最適なプログラムを実施していきます。

自分で選んで楽しめる

充実しているのは機能訓練だけではありません。興味に合わせ参加できる料理や手芸、園芸などのクラブ活動、最新のカラオケも盛況です。

弱酸性で美肌効果も期待できる人工温泉の入浴設備（美肌の湯）や自由に入れる足湯も好評です。また無料ドリンクバーも設置しており、好きな時に好きなドリンクを飲む事ができます。

昼食バイキングやドライブ、外出などイベントも多数行っています。

1日の中でいくつものレクリエーションや活動をご用意する事で、利用者様が自分の意思で楽しみながら取り組めるような環境作りに力を入れています。希望を実現していく事で、またさらに新たな希望を見出していくよう支援しています。



料理やお菓子作り、園芸といったクラブ活動は自ら自由に選ぶ事ができる。また昼食バイキングや外出、季節のイベントなど様々なレクリエーションが一年を通じて行われる。

TIPS

通所介護（デイサービス）

施設に通ってもらい、食事・入浴その他必要な日常生活上の支援や生活機能訓練、レクリエーションといった介護サービスを日帰りで受けられる。本人の心身機能向上と家族の負担軽減を図る。



自由に利用できる足湯の他、マッサージチェアなどのリラクゼーション設備も充実している。

2 認知症ケア～「心の声」を聴き、意欲を支える

笑顔と穏やかさあふれるデイホーム安布里。

そこで行われる専門的な認知症ケアとスタッフの取り組みをご紹介します。

心の声を聴く

認知症対応型通所介護施設デイホーム安布里（以下、デイホーム）で取り組まれる認知症ケアは、認知症状の緩和や心身機能の維持などを目的としています。中でも、BPSD（認知症の行動・心理症状）の緩和は最も重要なポイントです。

BPSDとは認知症者に現れる、

粗暴な言動・妄想・昼夜逆転・徘徊・物集め・不潔行為・抑うつ状態などの症状を言います。このような症状が現れると、日常生活に支障をきたし、介護しているご家族にどうしては大変な負担となります。

ですから認知症介護において、できる限りBPSDが現れないように介護することが非常に重要です。

BPSDは、本人が元々持ち合っている性格や脳組織の変化、体調の不調（便秘・慢性疾患の悪化など）、環境や人間関係の変化、活動性の低下（寝たきりや閉じこもり）、

その他本人にとつて不快な状況（周囲の人の関わり方が適切ではないなど）などが影響して現れます。

そのため、人によつて症状は異なります。全く同じ症状の方はないと言つても過言ではありません。

そうした症状に対し、スタッフはその原因を探します。なぜそんな行為に及ぶのか、体調不良？ 空腹？ 便秘？ 気持ちを害するものは何か？ 利用者様と触れ合う中で日々の様子を丹念に丹念に見極め、スタッフ間でも様々に検討しながら、この行為は体調不安を訴えている、これは寂しさを訴えていると、その原因を特定していくのです。

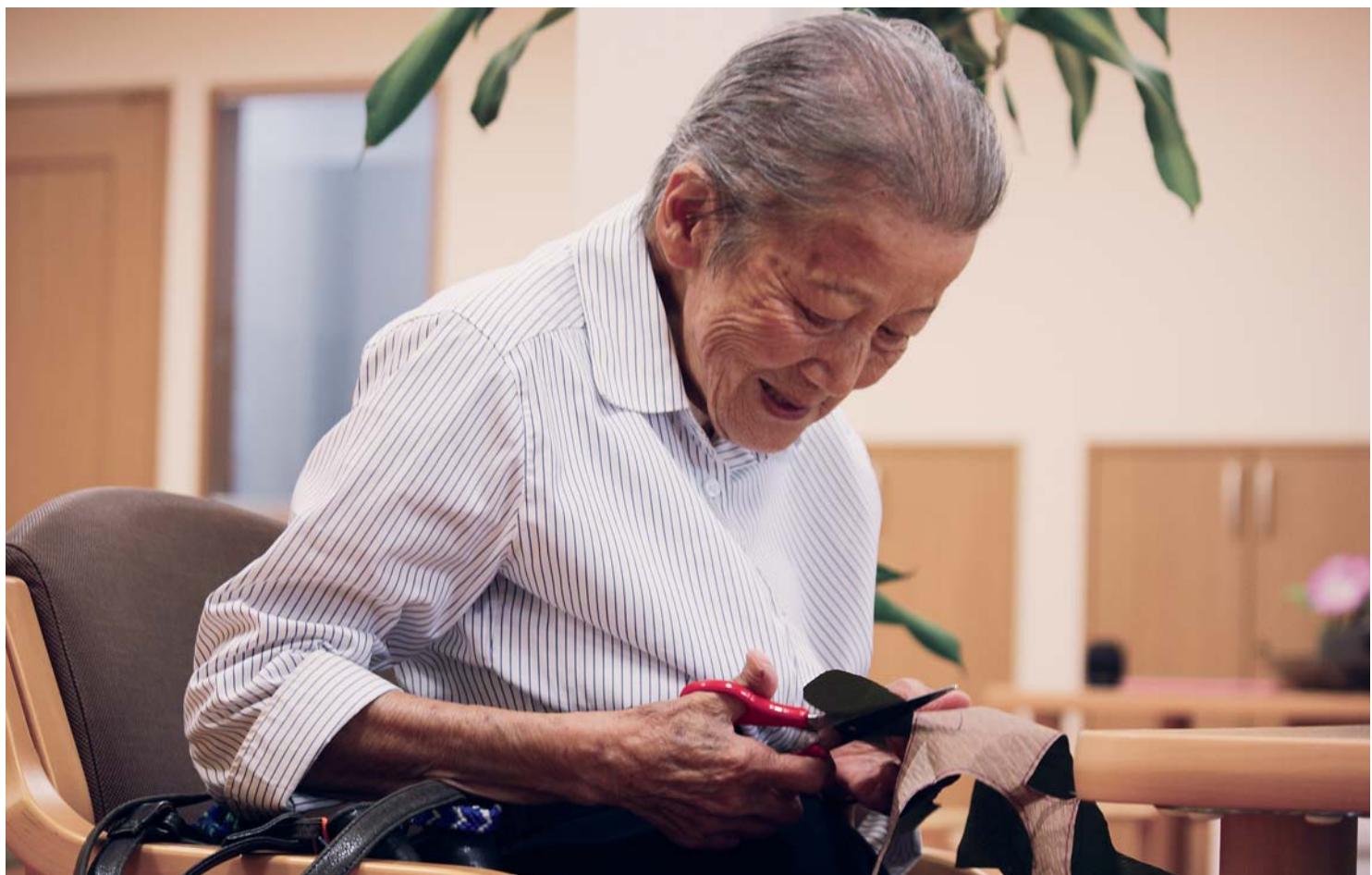
特定できると、今度はBPSDが見られる前にトイレ誘導をしたり、隣りに寄り添うなど、原因となる状況を先回りして取り除いていきます。こうした繰り返しがひいてはBPSDの発現を抑制することにもつながっていくのです。実際デイホーム利用開始後、BPSDが一切

見られなくなつた方もいました。

まるで「心の声を聴く」ように、利用者様に寄り添い、言葉にならない思いを受け止める。認知症ケアにとつて一番大切な事と言えるでしょう。

利用者様とのコミュニケーションにおいて、笑顔や穏やかな時間は最も大切な要素。





手芸に取り組む利用者様。できる事や興味を持てる事は積極的に携わっていただく。体験や達成の積み重ねが、次への意欲につながっていく。

喜びを分かち合い 意欲を支える

認知症の方は、家事など以前はできたはずの日常行為もままならなくなり、喪失感に苛まれます。そうした中でも、まだ残る能力を活かし、充足感を持つて日々過ごせるよう支援する、これも大切な認知症ケアの一つです。

例えば利用者様には食事の準備や片付けを行つていただく事があります。時には食材の買い出しも一緒に行つていただきますが、「行えた」という事実を必ずスタッフが一緒に喜びます。少しでも見える事に寄り添い成し遂げる、これが認知症の方にとつて喜びとなり、更なる意欲の火を灯すのです。

塗り絵を続けるうちに白紙へ風景を描けるまでになつた方もいます。ある方は、家族へのプレゼントにと編み物に励む姿に、ご家族が感激した事もありました。

こうした認知症ケアの積み重ねは、利用者様にとつて認知症状の緩和や心身機能の維持のみならず、安堵や安心、職員との信頼関係、また日々を生きる意欲と喜びにつながつていくのです。

TIPS

認知症対応型通所介護

認知症の高齢者を対象に、施設への送迎や健康チェック、食事・入浴・排泄などのなどの介助や支援、機能訓練やりハビリ、レクリエーションといった介護サービスを日帰りで受けられる。弊社では「デイホーム」と称し、安布里を含め4事業所を運営。



昼食の盛り付けをする利用者様。スタッフが見守る中、下膳や食器洗いなども行つていただく。

3 リーダーの言葉



「やりたい」の実現を
支えていくために

通所介護施設
管理者 高橋 晋
デイサービス安布里



認知症ケアに
欠かせない関係作り

認知症対応型通所介護施設
管理者 森 可奈子
デイホーム安布里

思いを受け止めて

デイサービス安布里の利用者様は、お元気な方がとても多いと思います。「自分が望むように活動したい」「やりたい事をやっていきたい」そんな皆さんの思いをいつも感じます。私たちはそうした思いをしつかり受け止め、それらを実現できる環境作りに力を注いでいます。

コミュニケーションを大切に

なによりスタッフ全員が、「リクエストに応えていく」を強く意識しています。利用者様やご家族とのコミュニケーションを大切にし、他愛もない会話の中でも望みや求めを察知していくよう努めています。

一緒になつて楽しむ

またスタッフが、利用者様と一緒になつて楽しむということも大切だと思います。スタッフ自身が楽しむことで笑顔や感情は利用者様に伝わり、充実した一日を過ごしていただけると思うからです。これからも「笑顔・活気・元気」をモットーに邁進していきます。

認知症ケアを行う上で、私たちは利用者様に信頼と安心を感じていただけるよう努めています。お一人おひとりの気持ちや思いを理解していくには、そうした関係作りが欠かせないと思うからです。

試行錯誤とコミュニケーション

そういう取り組みにおいて、試行錯誤とスタッフ間のコミュニケーションはとても重要なとっています。課題に対しては常に皆で話し合って取り組み、利用者様の気持ちに添えた時には、互いに共有して喜び合うようスタッフに働きかけています。

全てを受け入れる

また「その方の全てを受け入れる」というスタンスも大切にしています。様々な瞬間ににおけるその方の感情や求めを汲み取り、全てを肯定して受け止めていく、それもまた親密な関係作りに不可欠だと思います。今後も、利用者様皆さんに日々の喜びや達成感を感じていただけるよう、最良のケアに努めていきたいと思っています。

Information

平成27年11月15日、第7回南房総リハビリテーション・ケア文化祭（主催：安房地域リハビリテーション広域支援センター）にて、デイサービス安布里の発表および展示が下記の各賞をダブル受賞しました。

座長賞（優秀賞）：ポスター発表（機能訓練をメインとした取り組みやサービスを紹介）

通所サービス利用者創作コンテスト最優秀賞：デイサービス安布里利用者様のちぎり絵

7回の歴史の中で、一つの事業所のダブル受賞は初の快挙で、デイサービス安布里の取り組みや利用者様の作品が高く評価されました。



▲富士山が浮かぶ館山湾と菜の花を描いたちぎり絵が最優秀賞を受賞。サイズも大きな力作です。

NEWS

リハビリ・ケア文化祭で
初のダブル受賞
デイサービス安布里

【この情報に関するお問い合わせ】デイサービス安布里 TEL.0470-25-5766

連載

1

認知症～暮らし・寄り添う

第2回 「認知症の早期発見・早期治療」



医療法人社団 慶勝会 理事長
赤門 整形外科内科 整形外科・認知症外来 医師
田中 耕一

平成27年10月、公益社団法人 日本橋法人会様のお招きにより、認知症に関する講演会を行いました。昨年10月と今年4月に続き3回目の講演です。

当日は、第一線で活躍される経営者の皆様と共に一般の方々も多くお集まりいただきました。

これまで「認知症の正しい理解」をテーマに、基礎知識、認知症と物忘れの違い、家族が認知症になつた時などと共に、「認知症は、早期発見・早期治療が有効な病気」であるといった点についても不可欠な要素としてお話させていただきました。また、アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、前頭葉側頭葉型認知症など、様々な認知症の種類に応じた再現ドラマ映像をご用意し、それぞれの種類における兆候や日常における対応などをご紹介しました。



講演後の質疑応答や相談の場でも、認知症の予防は？どんな薬がある？など具体的な質問や意見がありました。



私がお答えします。

株式会社ケアサービス・まきの実
総合相談窓口 管理者 **富澤 千夏子**

連載

2

相談ひろば Q&A

「こんな時はどうしたらいいの？ 誰に相談するの？」

医療と介護に関する様々な疑問・お悩みに専門スタッフがお答えします。

● 今回は入居施設についてご紹介します

介護保険法適用「認知症対応型共同生活介護」施設のことを目指します。一般にグループホームとも呼ばれています。認知症の診断があり、要介護認定要支援2、要介護1～5認定がある方が利用できる施設です。定員9名の家庭的且つ、住み慣れた地域にあります。認知症状によって滞っていた生活を専門職員と、共に支え合いながら自分らしい暮らしを送れるように支援します。また、全て個室です。これまでの暮らしで大切に使われてきた思い入れのある生活用品や家具をお持ちいただき、ご自宅と似た環境の中で生活を送っていただけます。

● ご家族と地域と共にチームケアで支える

まきの実では、その人らしい生活を送っていただくため、入居後もご家族しかできない心の支え、慣れ親しんだ地域との交流をしています。また、グループの医療機関と連携し入居者様の体調管理に努めます。24時間体制で医師や看護師に連絡・相談し対応をとっています。希望者には認知症サポート医による訪問診察や、専門スタッフによる訪問リハビリもあり、チームケアで入居者様の生活を支えています。

● 利用開始までサポートします

「まだ早い」「本人が希望しないから」と思つていませんか？ご本人が自分らしく生活を送れるよう、認知症状の進行を緩やかにするためには、専門職と早めに関わりを持つことが重要なポイントです。ご本人やご家族にとつて今必要なことは何か、これから必要になることは何なのかを一緒に考えながら、最良のケアをご提案します。どんな些細なことでも結構です。お気軽にご連絡ください。

Q 認知症専門の施設ってどんなところ？

食べて元気になるメニュー

食事の「コツ」を
管理栄養士が紹介！



赤門整形外科内科
管理栄養士 川端 俊哉

第2回 「ちょっとしたひと手間で誤嚥を防ごう」

誤嚥とは飲食物が誤って気管に入ってしまうことです。通常は、無意識に咳をして吐き出します（咳嗽反射）が、この反射が不十分だと誤嚥してしまいます。

★この中に誤嚥しやすい食べものがあります。どれだと思いますか？



①ジュース・お茶・水



②麺類



③豆腐

実は…3つとも注意が必要です！

原因 飲み込むタイミングがとりづらい。

対策 市販のトロミ剤やゼラチンを使用。

原因 具材を咀嚼中、水分だけが先に進んでしまう。

対策 麺は3~5cmに切り、具材と汁を分けて食べる。
スープにはトロミを！

原因 咀嚼中、豆腐のかけらがのどの奥に入る。

対策 崩しながら食べたり、あんをかける！

お悩み解消おすすめメニュー

とろろそば

とろろと和えるとまとまり、食べやすくなります！

※その他、とろろご飯・とろろ汁・とろろと野菜を和えるなどもおすすめです。



おさえるポイント

誤嚥は、肺炎の原因にもなります（誤嚥性肺炎）。厚生労働省の統計では2011年以降、肺炎による死亡率は、悪性新生物、心疾患に続く第3位となっています。

簡単！家リハ

いつまでも自分らしい健やかな身体をキープしよう!!
vol.4 座ってできる膝痛予防体操

ポイント

膝関節周りの筋力強化

膝に痛みを抱える人は少なくありません。原因は、運動不足により筋力が低下し、関節の動きが悪くなってしまうからです。また、膝の軟骨がすり減り、関節炎や痛みが発生する事もあります。膝の痛みを予防するには、膝関節周りの筋力を強化し、関節の動きを良くする事が大切です。今回は椅子や床に座ってできる膝痛予防体操をご紹介します。

専門スタッフが自宅で手軽にできるリハビリメニューをご紹介



介護老人保健施設 なのはな館 みさき

理学療法士
長谷川 理恵

作業療法士
野崎 孝伸



① 背筋を伸ばし、つま先を立てた状態で膝をゆっくり伸ばします。



② 膝の痛みが強い方は、膝下にクッションを敷き、膝裏をクッションに押し付けるように力を入れます。



③ 両脚の間にボールを挟み、息を吐きながらボールを押します。
(タオルやクッションで代用してもOK)

いかがでしたか？

順番などはお好みで、回数もご自身の体調に合わせ、無理のない範囲でお試しください。

※日常生活で痛みや問題が生じている場合は、専門の整形外科などにご相談を。

平成 27 年 11 月 15 日(日)

なぎさ開設記念行事

サテライト型小規模介護老人保健施設 なのはな館 なぎさ

開設 2 周年の記念行事で、地元の子供グループ「安房八幡太鼓」が演奏を披露しました。力強い太鼓の音は、全身に振動が伝わるほどの迫力でした。利用者様からは「子供たちから活力をもらったよ」などの声をいただきました。



平成 27 年 11 月 20 日(金)

大好評 !! お寿司バイキング

デイサービス安布里

前回大好評だったお寿司バイキングを再び行いました。「お兄さん、マグロ !」「私はイクラ !」利用者様の注文に、板前に扮した職員が「ヘイッ、お待ちッ !!」お寿司屋さながらのイベントを皆で楽しみました。



各施設の日々の様子やその他情報は、ホームページでもご紹介しています。

医療法人社団 慶勝会 [慶勝会](#) 株式会社ケアサービス・まきの実 [まきの実](#)

～やつか秋祭り～

(グループホームやつかガーデン・デイホームやつか)



～野鳥の森散策～

(デイホーム西の浜)



～案山子コンテスト入賞～ (グループホーム広瀬ガーデン)

利用者様たちが作成された2つの案山子「祭り大好き」(左)と「お婆ちゃんの子守り」が、それぞれ館山市農業委員会長賞と館山市教育長賞を受賞しました。

●その他詳しくはホームページの
「新着情報」よりご覧ください。

赤門整形外科内科 ご利用のご案内 (平成27年12月時点)

診療時間	月～金 (午前) 9:00～12:00 (午後) 14:00～18:00
	土曜日 (午前) 9:00～12:00 (午後) 14:00～17:00
リハビリテーション	月～金 8:30～19:00
	土曜日 8:30～17:00
外来受付時間	月～金 8:30～18:00
	土曜日 8:30～17:00
休診日	日・祝・祭日、年末年始 (12月30日～1月3日)



最新の外来予定は
こちらのQRコード
からご確認いただけます。



救急告示診療所・労災指定・生活保護法指定・原爆医療指定・公害・特定疾患・身体障害者福祉法指定医

赤門ヘルスケアグループ 事業所一覧

●● 医療法人社団 慶勝会

赤門整形外科内科

〒294-0034 千葉県館山市沼1619
TEL. 0470-22-0008 FAX. 0470-23-2836

介護老人保健施設 なのはな館 みさき

〒294-0303 千葉県館山市浜田110-1
TEL. 0470-29-2700 FAX. 0470-29-2777

サテライト型小規模介護老人保健施設 なのはな館 なぎさ

〒294-0045 千葉県館山市北条2832
TEL. 0470-24-2700 FAX. 0470-24-2701

なのはな訪問看護ステーション

〒294-0034 千葉県館山市沼1604-4
TEL. 0470-24-3113 FAX. 0470-24-3117

ホームヘルプサービスなのはな

〒294-0034 千葉県館山市沼1604-4
TEL. 0470-24-1226 FAX. 0470-24-3117

赤門ケアプランセンター

〒294-0034 千葉県館山市沼1637-1
TEL. 0470-22-0023 FAX. 0470-23-6160

館山市地域包括支援センターなのはな

〒294-0034 千葉県館山市沼1604
TEL. 0470-22-1350 FAX. 0470-22-1351

管理部

〒294-0034 千葉県館山市沼1599-1、1階
TEL. 0470-25-7300 FAX. 0470-25-7301

●●株式会社ケアサービス・まきの実

グループホーム堂の下ガーデン

〒294-0056 千葉県館山市船形827-11 TEL & FAX. 0470-20-5228

グループホーム神明町ガーデン

〒294-0045 千葉県館山市北条1173-6 TEL & FAX. 0470-24-5075

グループホーム広瀬ガーデン

〒294-0008 千葉県館山市広瀬368-1 TEL. 0470-20-6221 FAX. 0470-36-1022

グループホームやつかガーデン

〒299-2415 千葉県南房総市富浦町深名656-1 TEL. 0470-33-3113 FAX. 0470-33-3114

グループホーム相浜ガーデン

〒294-0235 千葉県館山市相浜75-1 TEL. 0470-20-7511 FAX. 0470-28-3588

グループホーム安布里ガーデン

〒294-0043 千葉県館山市安布里237-2 TEL. 0470-29-5146 FAX. 0470-29-5147

デイサービス安布里

〒294-0043 千葉県館山市安布里237-2 TEL. 0470-25-5766 FAX. 0470-24-3090

デイホーム柏崎

〒294-0034 千葉県館山市沼1627-2 TEL. 0470-25-5337 FAX. 0470-22-8101

デイホーム西の浜

〒294-0034 千葉県館山市沼865 TEL. 0470-23-3319 FAX. 0470-23-3392

デイホームやつか

〒299-2415 千葉県南房総市富浦町深名656-1 TEL. 0470-33-3113 FAX. 0470-33-3114

デイホーム安布里

〒294-0043 千葉県館山市安布里237-2 TEL. 0470-29-5367 FAX. 0470-24-3090

福祉用具貸与・販売、生活支援サービス (すりーえす)

〒294-0034 千葉県館山市沼1630-1 TEL. 0470-28-4025 FAX. 0470-29-5211

介護タクシー (介護タクシー・まきの実)

〒294-0034 千葉県館山市沼1630-1 TEL. 0470-29-5210/080-8809-8881

本 部

〒294-0034 千葉県館山市沼1599-1-2階 TEL. 0470-30-8488 FAX. 0470-29-5206

[この一枚]

機能訓練の成果を喜び合う利用者様
とデイサービス安布里高橋晋管理者。
楽しげに、そして精力的に取り組む
様子が印象的でした。



赤門ヘルスケアグループ 委刊広報誌「赤門だより」通巻46号
(医療法人社団 慶勝会 / 株式会社ケアサービス・まきの実 共同発行)

発行・責任:「赤門だより」編集発行室

〒294-0034 千葉県館山市沼1599-1、1階

TEL. 0470-25-7300 FAX. 0470-25-7301

医療法人社団 慶勝会 <http://www.keishokai.or.jp>

株式会社ケアサービス・まきの実 <http://www.makinomi.co.jp>

発行日: 平成27年12月15日(年4回発行)

編集・印刷: 管理部 情報企画

写真: 青写真 他

介護タクシー・まきの実

地域の皆様の暮らしをサポート

車イスOK!!

運転手は介護職員初任者研修修了者です。

買い物 通院 旅行

株式会社
ケアサービス・まきの実 検査や透析などの定期利用にも便利
急な予約OK!! 0470-29-5210/080-8809-8881